

平成 29 年度北海道・アルバータ州高校生交換留学促進事業

留学生現地レポート

I FOUND THE DIFFERENCE!

Hokkaido / Alberta student exchange program 2017-2018



平成 29 年 12 月 27 日発行
北海道教育庁学校教育局高校教育課

現地リポーター（留学参加者）

〈滞在期間 平成 29 年 11 月 5 日～平成 30 年 1 月 6 日〉

- 1 滝川高校 2 年生 (Ecole Secondaire Notre Dame HS in Red Deer)
 - ★ 学校の雰囲気
- 2 札幌国際情報高校 2 年生 (Memorial Composite HS in Stony Plain)
 - ★ 私がカナダで驚いた、ビックリ仰天事実 BEST 3 !
- 3 千歳高校 2 年生 (Harry Ainlay HS in Edmonton)
 - ★ 校内に ATM、様々な場所に水分補給の場
- 4 登別明日中等教育学校 1 年生 (Bishop Carroll HS in Calgary)
 - ★ カナダでの発見
- 5 函館中部高校 1 年生 (Harry Ainlay HS in Edmonton)
 - ★ カナダのバス
- 6 旭川北高校 2 年生 (Camrose Composite HS in Camrose)
 - ★ 新感覚のドライブスルー
 - ★ emoji
- 7 帯広柏葉高校 1 年生 (Kitscoty HS in Kitscoty)
 - ★ カナダと日本の教科書持ち運びの違い
- 8 鹿追高校 1 年生 (Harry Ainlay HS in Edmonton)
 - ★ 日本との違い



1 滝川高校2年生

★ 学校の雰囲気

私が通っていた Notre Dame High School では、様々な授業の種類を自分達で選び、組み合わせることができ、中には Drama, Cosmetology, Band, Mechanism, Theater, Food など専門的なことを学べるクラスがたくさんありました。さらに Spare time を入れるとその時間に自分の好きなことをどこでもすることができ勉強をする生徒や、家に帰る生徒もいました。授業中では机のない教室もあり、立って受ける授業



カフェテリアの中の Under Armour のお店

や、床に寝ながら授業を受ける生徒もいました。また、携帯を使ったり、音楽を聴いたり、飲食も自由なことが出来ました。さらにほとんどのクラスでは先生はアドバイスをしたり課題を出すだけで、生徒同士で議論をしたり考える時間が多く取られていました。服装や髪型などについての校則もなく、生徒達の個性が尊重されているように感じました。英語が母国語ではない生徒が多く、言語や考え方が違う人がいることから、学ぶことは同じでもそれぞれのやり方で、それぞれの興味のある事を楽しく学ぶことができるような仕組みになっているのだと思いました。



Drama class



Cosmetology class

さらに、学校内には日本の学校にはあまりないような部屋が設置されていました。カトリックの高校だったので Chapel があり、いつでも中に入りお祈りをすることができました。また、Under Armour が学校のスポンサーをしていたので学校のマークが入った Under Armour とのコラボの服などが販売されており、たくさんの先生や生徒達がそれらを着て登校していました。とても自由な学校の雰囲気でしたが、自分なりのやり方を見つけ個性を活かし楽しく勉強をすることが出来る学校だと感じました。



Chapel

2 札幌国際情報高校 2 年生

★ 私がカナダで驚いた、ビックリ仰天事実 BEST 3 !

海外は日本とは違う、そう思っただけでも度肝を抜かれた日本とカナダの大きな違いを3つ、ランキング形式でお伝えしたいと思います。

◎第1位 カナダの広大な土地



左の写真は私のホームステイ先の家の前から隣の家の方向を撮ったものです。空が綺麗!というのは勿論なのですが、それよりも私が驚いたのはお隣さんの家との距離です。徒歩だと2~3分はかかります。また、家の並びも規則的ではありません。カナダ特有の広大な土地がこのような光景を生み出したのだと思います。

余談ですが、私のホストマザーは近所のコンビニに行く感覚で10分ドライブしたこともありました。

日本は狭い陸地に多くの人々が住んでいるので、家の並びは規則的に、基盤の目状に建てられ、家同士が近いので窓を開ければ隣の家の壁とご対面というのが普通です。なので、この光景は私にとってとても衝撃的でした。

◎第2位 セブンイレブンに洗車場



左の写真は洗車場の入口を車内から撮ったものです。オレンジ、緑、赤色というセブンイレブンを連想させるラインと Car Wash という文字が入った看板がかかっています。この洗車場はコンビニであるセブンイレブンの店舗のすぐそばにあり、誰でも利用できるようになっていました。調べてみると、カーウォッシュ・エッソ・モービル・ゼネラルという会社とセブンイレブンがタッグを組んで、洗車場にセブンイレブンが併設されているとのことでした。利用者にとっては1度に色々なことが出来るのでとても便利だと思います。利用者のことを思っていてカナダらしい“優しさ”を感じました。

◎第3位 空港でのリパッキングエリア



左の写真は空港での荷物手続きをする場所からみて正面を撮ったものです。ここは荷物を預ける際に重量がオーバーした、持ち込みできないものをパッキングしてしまったなど問題があった時に利用できるようなスペースです。荷物を広げるには十分なスペースがあり、歩行者の邪魔にもならないので、利用者にとってもとても便利なスペースだと思います。利用者のことを思った、空港の“優しさ”を感じました。

【まとめ】

日本とカナダの陸地の面積は対極に位置していて、それが私のカナダでの身近な生活の中にすごく現れていると感じました。また、カナダと日本の違う考え方を“優しさ”として感じました。

3 千歳高校2年生

★ 校内に ATM、様々な場所に水分補給の場



学校へ行くと、廊下に ATM がありました。校内の様々な場所に、ATM が設置されていて、とても驚きました。カナダでは、バイトをしている学生がとても多く、カードを利用している学生も多くいるので、カードに現金をいれたり、逆にカードから現金を引き出すことによく利用するため、校内に設置されているようです。日本では銀行やコンビニにしか ATM はないので、使用している学生をみると、不思議な感じがしました。

そして、校内に限らず、店内でもたくさん設置されているのが、水分補給のできる水のみ場のような場所です。校内の場合は廊下に設置されていますが、店内だと、大体トイレの近くにありました。エドモントンはとても乾燥しているので、水分補給はとても重要です。多くの人がマイボトルやミネラルウォーターのペットボトルを持ち歩いています。なので、持ち歩きの水がなくなってしま

ったときに、ペットボトルなどに水を補給できるようになっています。日本では水のみ場は温泉や公園でしかみたことがなかったので、水をボトルに補給できる場所があるのはとても新鮮でした。



4 登別明日中等教育学校 1 年生

★ カナダでの発見

私がカナダで発見したことは沢山あるのですが、今回は2つ紹介します。

1つ目はカナダの商品の食品表示や説明は2ヶ国語で書かれています。理由は公用語が英語とフランス語だからです。

私の通っている学校の隣の学校はフランス語の学校です。また私の友達でも、フランス語を話す子は沢山います。カナダは移民の多い国で様々な人種の人が暮らしているため、それらに対応した工夫がなされているのだと思います。

これからは日本にも海外の人が来ることや移住することもあると思うので、見直してみてもいいのではないかと考えました。



2つ目はLGBTについてです。

学校で自分のパートナーの女友達と話していた時、パートナーは彼女のことをHeと言っていたのでとても疑問に思いました。あとからパートナーに聞いてみると、彼女はLGBTのTに当たるんだと言われて本当に驚きました。

私はカナダに行く前に、LGBTについて知っていた方がいいと思ったので勉強してから行ったのですが、まさかこんな身近にあるとは思わずびっくりしてしまいました。

しかし、これも日本人特有なのだと思います。

日本ではこのような話を友達とすることもありませんし、話すこと自体がタブーとされているように思います。しかしカナダではいたって普通のことで、気にしている人もいません。当たり前のことだからです。

これらの事は、私にカナダ人がとても柔軟な心を持っているのだということを気づかせてくれました。

5 函館中部高等学校 1 年生

★ カナダのバス

日本にいた時は自転車か車で登下校していたのですが、カナダではほとんど毎日 Monthly pass を使って ETS (Edmonton Transit Service) というバスと電車を利用しています。学生に限らずたくさんの方が pass を持っています。バスを利用することはカナダの文化なのだそうです。

バスに関して感じた違いは、まず、前のドアから乗って pass を運転手に見せることです。日本では学割のバスチケットがありますが、それは利用した分使える金額が減るものなのでそこが大きく違う点だなと思いました。pass を持っていない人はバスチケットを買います。2、3 ドルくらいです。他にも、バス停で待っていた人が全員乗ったらすぐに動き出すことが挙げられます。最初はびっくりして転びそうになりました。バスの前の方には椅子を出して座ったり、椅子を出さずに車椅子のまま乗れるところがあります。ベビーカーも利用できます。ステッカーに老人や犬を連れている障害者の絵があったので、日本でいう優先席のようなものだと感じました。降りるときは黄色いゴム製のひもを引っ張るか、赤いボタンを押して知らせます。それから、後ろのドアから出るので、バスが止まる前にドアの前まで歩き、降りるときに Thank you や Have a good day などと言います。そうすると時々運転手が手を挙げてくれます。あと日本と大きく違うと感じた点はバス停が短いスパンで存在するという点です。とても便利だなと感じました。時間はあまり正確ではなく、本数はほぼ同じくらいかなと思います。もう一つ気づいた点は、日本よりも女性運転手が多いなと思いました。バス停はドアのない個室のようになっていて冷たい風をよけるためのカナダならではの仕様だなと感じました。

電車に乗るときも pass かチケットが必要なのですが、驚いたことに改札がなく、何もせずに普通に乗りこえるので全く日本とシステムが違うなと感じました。電車を降りたところのバスターミナルの出口には大きなヒーターが天井にあってとっても暖かいです。ETS だけでもこれ以上にたくさんの違いが見つかりました。身近な機関から色んなことが学べてとても勉強になりました。



6 旭川北高校2年生

★ 新感覚のドライブスルー

カナダに住んでいる人のほとんどは車を交通手段として使います。1年を通してだそうです。そのためか、歩行者用の信号機はほぼボタン式です。また、私のいる街には電車がなく、バスは1つです。

そんなカナダの生活の中で驚いたのは、ATMにドライブスルーがあることです！家の周りを散歩していた時にこの写真のATMを見つけました。カナダには他にも多くのドライブスルーがあり、薬局でもドライブスルーを使用している所があるようです。

調べてみると、日本にもいくつかドライブスルーのATMがあるようですが、初めて知りました。悪天候の日や子どもを連れている人などにとってはとても良いシステムだと思います。日本にも広まる日がくるのかなと思うと、少しワクワクします（笑）いつか使用してみたいです。

★ emoji

日本ではそれほど意識せずに日常的に使っている「絵文字」。カナダでは靴下やポスター、お菓子などいろいろなところで絵文字を見かけます。絵文字はカナダだけではなく世界的に人気があるようですが、カナダでこんなにも見かけるなんて思いませんでした。日本の絵文字が広まっていることを知り、嬉しくなりました！絵文字を元にした映画もあるそうです。その映画のキャラクターがパッケージに描かれているクッキーはとても美味しいです ^^



7 帯広柏葉高校 1年生

★ カナダと日本の教科書持ち運びの違い

僕が思ったカナダと日本の違いは、カナダはあまりリュックを使わないということです。学校では決まったホームルームのクラスがないため全て移動教室での授業となります。よってその度にリュックを持ち歩いたりロッカーに戻るの面倒だということで、バインダーというものが使われています。これは中にルーズリーフがあり色々な収納ポケットがあり、さらにコンパクトなので持ち運びにはもってこいのものです。実際に僕も使っていますがとても便利です。



8 鹿追高校 1 年生

★ 日本との違い

カナダでは自分で車を運転し、登校する学生が多くいます。私も、パートナーが運転する車で登校することがあります。カナダでは 14 歳から保護者同伴で運転することができ、16 歳からは 1 人で運転することができるからです。エドモントンは大きい街でどこへ行くのにも車が必要だし、冬は気温が低く寒いので、カナダに合った良い法律だと思います。

また、アルバータ州では飲酒、喫煙は 18 歳から可能です。州によっては 19 歳からのところもあるそうです。同じ国なのに地域によって法律が違うことに驚きました。



学校生活の中で感じた、日本の学校との違いを紹介します。カナダでは、廊下に 1 人 1 人のロッカーがあります。ロッカーの中を、好きな歌手の写真やステッカーで飾るなど工夫している人も見かけました。私の通う学校では授業中はもちろん、テスト中も音を立てなければ飲食が可能です。また、スマートフォン等、携帯電話も辞書の代わりとしてなど多くの学生が使っています。辞書の代わりに使うなど、調べものをする時にとても便利です。ですが、違う用途で使ってしまう生徒も多く見かけたので、もう少し厳しく制限するべきだと感じました。